



かわしま

mail:y3kawash@edu.city.yokohama.jp

http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/kawashima/

学校だより10月号
平成19年9月28日
横浜市立川島小学校
校長 小池 慎一
TEL 371-0757
FAX 381-7248

成就感を次の飛躍に向けて

学校長 小池 慎一

「暑さ寒さも彼岸まで」と昔から言われていますが、ようやく夏の暑さもおさまり、空を見上げると、ちょうど「ほうきで掃いたような」秋の高層雲が、きれいに見える日々になりました。仲秋を過ぎ、秋後半に突入です。

9月22日(土)には、お天気に恵まれ、保護者・地域の皆さまのご理解とご協力のもと、特に大きなけがも事故もなく、無事K S F(川島スポーツフェスティバル2007)を開催することができました。ありがとうございました。

ご参観いただき、それぞれのご家庭で、様々なご感想を持たれたと思います。私は、開会式や閉会式、そして演技や競技などで、参加する子どもたちの顔を見ていました。どんな表情で活動しているのだろう、どんな気持ちでいるのだろう、と。

開会式で見た子どもたちの顔は、少し緊張しているように思えました。演技のときの、真剣な表情。周囲の動きを目の端に見ながら、音楽に合わせるようにしていました。閉会式の子どもたちの顔は、満足しきった顔、自分の力を出し切った顔がほとんどでした。当日に向けて、準備をし、練習をし、本番で精一杯がんばった結果、どの子どもたちも「やり遂げた喜び」を味わえたのに違いありません。この「やり遂げた喜び」という経験を何度も何度も持つことが、子どもたちの成長にとってとても大切なものだ、私は思っています。

もちろん、いっしょうけんめい努力をしても、うまくいかないことはいくらでもあります。社会に出れば、そういうことの方が多いかも知れません。そんな時に、子どもの頃いっしょうけんめいやったらできた、苦しかったけれどそれを乗り越えたらうまくいった・・・という経験をたくさん持つことで、大人になっても「自信」をもって、困難な課題にも臨むことができるようになると思っています。

今年のK S Fでのこの気持ちや手ごたえを、次につなげていくことができれば、子どもたちは、また一段と成長できると思います。学校では、こうした視点で、指導をかさねていきたいと考えておりますが、ぜひご家庭でも、次の飛躍に向けて子どもたちを励ましていただけたらと思います。

K S Fには、保護者・地域の方をはじめ、ご家族お揃いでご参加いただき、ありがとうございました。後片付けも多数の皆さまにお手伝いをいただいたおかげで、短時間のうちに終了することができました。

ありがとうございました。